

令和7年度 学校評価アンケート(児童)アンケート分析報告

昨年度(R6)と比較し、子供たちの成長が見られる「成果」と、今後ご家庭と連携して取り組みたい「課題」についてご報告いたします。

①「先生は、毎日の授業をわかりやすく教えてくれている(95.2から98.9%)」に上昇しました。先生を信頼し、一生懸命学習に取り組む児童が増えてきました。

No.	質問項目	R5	R6	R7
1	先生は、毎日の授業をわかりやすく教えてくれている	91.10%	95.20%	98.90%

⑤「授業中、人の話を集中して聞いている」という項目が、昨年度の81.9%から88.9%へと大きく向上しました。教室環境が落ち着き、みんなで学習に向かう雰囲気を作られています。

No.	質問項目	R5	R6	R7
5	授業中、人の話を集中して聞いている	88.10%	81.90%	88.90%

⑮「進んであいさつをしている」と答えた児童・生徒の割合が改善されました。(79.4%から85.4%)。温かい雰囲気の中で明るいあいさつができるようになってきています。

No.	質問項目	R5	R6	R7
15	先生、友だち、近所の人に進んであいさつをしている	88.10%	79.40%	85.40%

⑲「困ったときには相談にのってくれる(88.4から93.3%)」と上昇しました。子供たちが先生を信頼し、安心して学校生活を送れている様子が見えます。

No.	質問項目	R5	R6	R7
19	先生は困ったり悩んだりしたときには、相談にのってくれる	90.10%	88.40%	93.30%

【成果】学校生活が落ち着き、学習に向かう姿勢が育っています
今年度のアンケート結果から、学校内での子供たちは規律を守り、安心して生活できていることが分かります。

【課題】家庭での生活習慣に関して、昨年度に比べて数値が下がっている項目が多数見られます。

⑭「朝は、決まった時間に起きている」と答えた割合が、昨年度の**80.1%**から**62.2%**へと急激に下がっています。朝のリズムある生活について、保護者への理解と協力を再度求めています。

No.	質問項目	R5	R6	R7
14	朝は、決まった時間に起きている	82.20%	80.10%	62.20%

⑮「本をよく読んでいる」(**69.5%**から**55.6%**)

⑯「ゲームやスマホ等の約束を守って使用している」(**82%**から**74.4%**)

No.	質問項目	R5	R6	R7
24	本をよく読んでいる	68.30%	69.50%	55.60%
25	テレビ、ゲーム、スマホ等は約束を守って使用している	77.20%	82.00%	74.40%

夜遅くまでのメディア利用が、⑭の朝起きられない原因の一つになっていることも考えられます。

令和7年度 学校評価アンケート(保護者)アンケート分析報告

No.11「子どもは、自分の身の周りのことを自分でしている」

No.	質問項目	R5	R6	R7
11	子どもは、自分の身の周りのことを自分でしている	79.80%	70.30%	85.4%

家庭での声かけや、学校での支援により、子供たちの自立心が育ってきている。

No.4「学校は、子どもの体力作りに熱心に取り組んでいる」

No.	質問項目	R5	R6	R7
4	学校は、子どもの体力作りに熱心に取り組んでいる	89.90%	79.90%	92.7%

No.2「子どもの学力の状況はよく分かっている」

No.	質問項目	R5	R6	R7
2	子どもの学力の状況はよく分かっている	94.90%	91.10%	100.0%

「子どもは、自分の身の周りのことを自分でしている」という項目で、R6年度70.3%からR7年度85.4%へと大幅に向上しました。また、No.4、No.2についても大幅に向上しており、本校の教育活動に対する保護者の信頼が高まっていると考えます。

No.13「子どもは、先生、友達、近所の人に進んであいさつをしている」
(R6:68.1% → R7:78.0%)

No.	質問項目	R5	R6	R7
13	子どもは、先生、友達、近所の人に進んであいさつをしている	83.80%	68.10%	78.0%

No.14「子どもは、人のことを大切にして、友だちと仲良くしている」
R6:90.7% → R7:97.6%

No.	質問項目	R5	R6	R7
14	子どもは、人のことを大切にして、友だちと仲良くしている	93.90%	90.70%	97.6%

あいさつの励行や、友だち関係の良好さが数値に表れてきました。子どもたちの社会性やコミュニケーション能力が育っていることがわかります。学校での日々の指導と家庭でのご協力により、礼儀正しく思いやりのある子どもたちが育っています。

また本年度から、アンケートの質問項目としているNo.28学校の教育方針や取組について、理解できている。No.29学校は、保護者が相談しやすい雰囲気づくりに努めている。についても、高い割合を示しており、学校の取組が保護者との信頼を得ていると考えています。

No.	質問項目	R5	R6	R7
28	学校の教育方針や取組について、理解できている			90.2%
29	学校は、保護者が相談しやすい雰囲気づくりに努めている			97.6%

【課題】

No.23「子どもは進んで読書している」(R6:46.2% → R7:41.5%)

No.24「テレビ、ゲーム、スマホ等の約束を守って使用している」
(R6:41.0% → R7:39.0%) %

No.	質問項目	R5	R6	R7
23	子どもは進んで読書している	54.50%	46.20%	41.5%
24	子どもはテレビ、ゲーム、スマホ等の約束を守って使用している	60.60%	41.00%	39.0%

全体的に数値が向上する中で、「読書」は顕著に低下しており、「読書離れ」への対策が喫緊の課題といえます。

令和7年度 学校評価アンケート結果報告(まとめ)

【成果について】

学習面では、授業の分かりやすさが95.2%から98.9%へ上昇し、先生を信頼して一生懸命学習に取り組む児童が増えてきました。また、授業中に人の話を集中して聞いている児童の割合が81.9%から88.9%へと大きく向上し、教室環境が落ち着き、みんなで学習に向かう雰囲気が作られています。さらに、困ったときに相談にのってくれると答えた児童の割合が88.4%から93.3%へ上昇し、子供たちが先生を信頼し、安心して学校生活を送れている様子がうかがえます。こうした結果から、学校内での子供たちは規律を守り、安心して生活できていることが分かります。

社会性の面では、進んであいさつをしている児童の割合が79.4%から85.4%へ改善され、保護者からも68.1%から78.0%へと評価が向上しました。また、人のことを大切にして友達と仲良くしているという保護者評価が90.7%から97.6%へと大きく向上し、子どもたちの社会性やコミュニケーション能力が育っていることがわかります。

自立心の育成においても、子どもが自分の身の周りのことを自分でしているという保護者評価が70.3%から85.4%へと大幅に向上し、家庭での声かけや学校での支援により、子供たちの自立心が育ってきています。さらに、本校の教育活動に対する保護者の信頼が高まっており、学校の教育方針や取組についての理解、相談しやすい雰囲気づくりについても高い割合を示しています。

【課題について】

一方で、家庭での生活習慣に関して昨年度に比べて数値が下がっている項目が多数見られます。特に、朝は決まった時間に起きていると答えた割合が80.1%から62.2%へと急激に下がっており、本をよく読んでいる児童も69.5%から55.6%へ、ゲームやスマホ等の約束を守って使用している児童も82%から74.4%へと低下しています。保護者評価においても、読書習慣が46.2%から41.5%へ、メディア使用のルール遵守が41.0%から39.0%へと低下しており、全体的に数値が向上する中で「読書」は顕著に低下しており、「読書離れ」への対策が喫緊の課題といえます。夜遅くまでのメディア利用が朝起きられない原因の一つになっていることも考えられます。

【今後の取組】

アンケート結果からは、家でのリズムが崩れがちという子供たちの姿がうかがえます。学校での学習効果を高め、健やかな体を育むために、家庭での生活リズムを整えていただくよう「早寝・早起き・メディアコントロール」への協力をお願いしていきます。具体的には、体内時計を整えるため休日も含めて起床時間を一定にすること、寝る1時間前はスマホやゲームを使わないなどの具体的なルールを決めて睡眠時間を確保すること、デジタル機器から離れて本を開く時間を意図的に作ることを学校より提案していきます。学校としては、アンケートで明らかになった「先生との信頼関係」や「授業への集中力」という強みを活かし、信頼関係を基盤とした生活指導を強化し、学習指導や生徒指導を充実させていきます。